

Beside you

。。。あなたのそばに。。。



CONTENTS

- P 2 特集
みんなで「第4次地域福祉活動計画」
を前へ進めよう！
- P 4 大月市障がい者福祉の会
- P 6 地区社協掲示板
- P 8 ボランティアだより
- P 10 老人クラブ・老人大学通信
- P 12 社協事業の報告
- P 14 街頭募金の報告
- P 15 日常生活自立支援事業・食品寄付のお礼
- P 16 我が家のプチ自慢

表紙写真：ボッチャ体験交流会
(関連記事P4をご覧ください。)



社会福祉法人
大月市社会福祉協議会



第48回 大月市地域福祉推進大会

を開催しました！

11月25日（土）大月市民会館大ホールにおいて「すべての市民がともにささえあい、助けあいのまちづくりを推進しよう」をスローガンに第48回大月市地域福祉推進大会を開催しました。

本年度の大会は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したこともあり、334名という大勢の皆さまのご参加をいただき、盛大に開催することができました。

第1部の記念式典では、社会福祉に貢献された皆様方の表彰を行いました（受賞者はP3のとおりです）。

そして、第2部では、山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科准教授の高木寛之先生を講師に迎え『みんなでつくるささえあいの福祉のまち大月』の実現にむけて、第4次地域福祉活動計画おつき花さきプランを読むと題し、講演ならびに社協職員3名との公開協議を進めていただきました。

最初に、高木先生より「福祉（ふくし）」について「やさしく・やわらかく」説明をい



ただきました。参加者の皆さんからのアンケートには「ふくしが理解できた」「分かりやすかった」「ふくしがより身近となった」など多くの意見が書かれており、講演が大変好評だったことが伺えました。

その後の公開協議では、第4次地域福祉活動計画がなぜ必要なのかということ、皆さんに知っていただくために進めました。社協職員3名より、大月の現状と課題からどのように分析し計画に反映させたのかという説明があり、その中で先生がディスカッションを交えてより分かりやすく解説してくれました。職員の情熱と先生のエスコートのおかげで、参加者みんな「考え・学ぶ」良い機会となりました。

参加者の皆さんには、何か「気づき」を得ていただけたのではないのでしょうか？社協職員も、事前準備から様々なことを考えることができ、とても有意義な協議の場となりました。

アンケートから多くのご意見を いただきました！

地域福祉推進大会のアンケートでは、77件という多くの意見をいただきました。一部しか掲載できませんが、皆さんからいただいた意見を励みに社協職員一同「汗をかいていきたい」と思います。

- ご意見
 - ・活動に参加する人を増やすことが大月市をよくするために必要。
 - ・地域で普通の暮らしを続ける仕組みの推進を図り、共に頑張つて参りましょう。社会福祉協議会の果たす役割、重要です。
 - ・地域の代表だけでなく、色々な方に話を聞かせてやりたい内容だった。
 - ・今日出席しなかった人たちに社協の在り方を伝えてください。
 - ・社協の方々の話した内容を住民と共に協議し実践できる具体案こそ大切だと思ふ。
 - ・いきいきサロンにおいて、地域福祉活動計画についてお話をしてもらいたい。
 - ・自分たちの暮らしは自分たちで守っていくことのできる地域になっていきたい。

大会を大会だけで終わらせないために！

地域福祉推進大会は、高木先生のお話の陰で、参加者の皆さんにも喜んでいただけたと思います。高木先生ならびにご来場いただいた皆さんには本当に感謝しています。

しかし、大会が無事に終了したことに安堵せず、これから地域福祉活動計画をみんなが進めていくことが重要となります。「今大会を開催して良かったね」「成功したね！」と言えるのは、今後の私たちの進め方次第ではないかと考えています。

今大会のアンケート調査では、地域福祉活動計画という計画があることを知っているという方が51%、知らなかったという方が49%で、ほぼ同数でした。これから第4次地域福祉活動計画の5年の期間、今大会で伝えたようなことを「地域で知らせ・広めていくことができるか」、更には「必要な活動を広げることができるか」など、これからの成果がポイントであり、数値的な変化や活動の実績について評価していく必要があります。先々まで見据えて取り組んだ今大会が「実りあるものになったね」と評価できるよう励んでいきます。

そのためには、アンケートでも意見が多くあったように、社協の役割を果たしていきたいと思ひます。積極的に地域に向向いて、計画の必要性をお話させていただくとともに、地域のことについてみんなで話し合う機会を多く作っていきます。

地域に向向いての説明会や懇談会の際には、是非多くの方のご参加をお願いいたします。



ふだんのくらしを しあわせに！

ふくしでまちづくりをすすめ！大月市をみんなが住みよい地域にしていきたいと思います！

ONE TEAM になって！

表彰受賞者（順不同・敬称略）

- 大月市社会福祉協議会会長表彰
 - ◎民間社会福祉施設・団体役員
 - ・古屋友梨果（都留市）
 - ・高久 雪雄（七保町）

- ◎社会福祉事業功労者
 - ・米山 清美（賑岡町）
 - ・長田三規子（賑岡町）
 - ・小俣 伴子（賑岡町）
 - ・矢頭 和子（賑岡町）
 - ・鈴木 一枝（賑岡町）
 - ・小俣かほる（七保町）

大月市社会福祉協議会会長感謝状

- ◎金品寄附
 - ・初狩地区ボランティア協議会
 - ・梁川町老人クラブ連合会第一クラブ

「ボッチャ体験交流会」 11 / 19

大月市障がい者福祉の会では、障がい者に対する理解啓発活動として「ボッチャ体験交流会」を開催いたしました。

山梨県立やまびこ支援学校に協力をお願いし、学校の体育館を使用させて頂いていただきました。指導者として山梨県ボッチャ協会の皆さんをお招きして、ボッチャ競技の体験を通して障がいのある方と、市民の方々の交流を行うことが出来ました。

パラリンピックの公式競技でありますボッチャですが、まだまだルール等を知らない方も多く、ボッチャ協会からルール説明や試合形式でのデモンストレーションを行っていただき、ボッチャの楽しさを改めて知ることが出来ました。



その後、障がい者福祉の会の会員と一般の参加者が一緒に試合を行い、良いプレイが出ると「おおー」と大きな歓声が上がっていました。ボッチャは簡単そうで、とても奥が深く戦略を立てながら試合を行うので、参加した方々は、最初は戸惑いながらでしたが、試合数を重ねていくと、競技に熱中し、大いに盛り上がっていました。

大月市障がい者福祉の会では、これからも障がいに対する理解啓発活動を実施していきますので、多くの市民の皆さんの参加をお願いします。



クリスマスのついで

12 / 17

新型コロナウイルスの影響で開催できなかった「クリスマスのついで」を4年ぶりに12月17日に開催しました。

アトラクションとして「レインボーキッズ」の皆さんによるダンスを披露していただき、会場は華やかな雰囲気となり、続いて「稲垣誠さん」によるサロンマジックで会場はさらに盛り上がりました。会員の中にもマジシャンがいましたね！

昼食はお弁当と「手話サークル山百合」の皆さんが調理した「豚汁」に舌鼓を打っていました。みんなで食べる食事は楽しく美味しいかったですね。

昼食後には恒例の「ビンゴ大会」を開催。クリスマスプレゼントをゲットするために真剣にカードを握りしめてビンゴの番号を確認していました。今年のサンタさんからプレゼントは何だったのかな？

久しぶりのクリスマス会のついで、会員同士の交流を図ることが出来て、とても楽しい時間を過ごすことができました！



大月市障がい者福祉の会 会員募集！

大月市障がい者福祉の会では、一緒に活動を行う「会員」を募集しています。

当会は、障がい者の活発な社会参加と障がい者福祉の推進と向上を図り、障がいがあっても障がいのない人々と共に生きる共生社会を目指し活動しています。

多くの行事を通して、会員相互の交流と仲間作りをしながら、楽しく活動をしている当事者団体です。

1. 対象

- ① 会員・・・大月市内に在住する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の保持者とその家族及びこれらに準ずる者
- ② 賛助会員・・・本会の目的に賛同する者及び団体

2. 会費 年額1世帯1,000円

※入会を希望される方及びもっと詳しい話を聞きたいという方は、左記の大月市障がい者福祉の会事務局へお気軽にご連絡下さい。

●お問い合わせ先

大月市障がい者福祉の会
事務局
大月市社会福祉協議会 地域福祉担当

TEL・・・055412312001
FAX・・・055412212861

地区社協掲示板

猿橋地区社会福祉協議会

猿橋小学校と地区社協・ふれあいきいきサロンの昔の遊びを通じた交流会

10 / 24

猿橋地区社会福祉協議会では、地区社協役員の方々と、猿橋地区のふれあいきいきサロンの皆さんと、猿橋小学校1年生とで「昔の遊び」を通して、世代間の交流事業を実施しました。近年はコロナ禍で実施できず、4年ぶりとなる交流会でした。

児童たちは、メンコ、お手玉、けん玉、福笑い、コマ回しなど、体験したことのない昔の遊びをとっても楽しそうに体験していました。

遊びを教えてくださいました、いきいきサロンの会員の皆さんも童心にかえり、児童たちと楽しい時間を過ごしました。

地域の皆さんと交流を図ることで、顔見知りの関係になり、あいさつや声かけが自然とできる、より良い地域になることが期待されます。

これからもこのように地域の皆さんが、交流できる機会を増やしていきたいと思えます。



【写真】様々な昔の遊びで交流しました！



真木・大月・賑岡地区社会福祉協議会

大月東小学校と3地区社協の共同植栽活動 10 / 10

赤い羽根共同募金の理解を深める学習活動の一環と、地域住民の方々との交流を図ることを目的に真木・大月・賑岡地区社協の主催で、毎年大月東小学校の児童たちと植栽活動を実施しています。

今年も、コロナ禍も明け、4年ぶりに東小学校の校庭をお借りして児童と地域の方々が共同で作業することができました。当日は、児童の皆さんに用意していただいた「こんな大月市になればいいな」という思いを込めたメッセージ付きのプランターに、地域の方と一緒にパンジーの苗を植え付けました。地域の方から植え方を教えてもらったり、学校のことや好きなことなどを話したり、世代を超えた交流を皆さん楽しんでいました。参加した方からも「久しぶりにこのような交流ができて良かった」「色々なお話が出来て楽しかった」などの声が聞かれました。また、児童からは「丁寧に教えてくれてうれしかった」などの感想が聞かれました。

作成したプランターは、各地区社協の役員によって商店などに設置しました。是非、街中で見掛けた際はきれいなお花と児童たちのメッセージに目を向けてみてください。



ありがとうございます ご寄付の報告

●皆様のご協力に感謝いたします。

(9月1日～11月30日受付分)

●寄附金

匿名 一〇、〇〇〇円

紅富士太鼓 二五、七〇〇円

匿名 一八五、二〇九円 (敬称略)

●ペットボトルキャップ・使用済み切手・テレホンカード・牛乳パック・ベルマーク・プルタブ・アルミ缶・マフラー・マスクなど

梁川ボランティア/めばえ/あおば
 天野直樹/無辺寺/いきいきにんに
 大石豊/つゆくさの会/猿橋中学校
 上和田若葉会/明治安田生命上野原
 営業所/サロン下和田/サロン葛野
 ずらの会/中村律子/杉本石油
 玉木海斗/小俣徳平/條々七/吉角務
 小林喜美江/駒米秀悦/鬼島龍平
 小林清美/土屋美世子/小碓和美
 古家君夫/小笠原初枝/河西千鶴
 上條明彦/藤本和人/お茶飲み会峰沢
 神倉集いの場/中西春子/水越繁子
 小林京太/浅利を知る会/坂本京子
 久保田勲/天野ゆかり/佐藤友香
 水越正和/室賀キミヨ (株) 公正屋
 下真木ふれあいサロン/和田永子
 内藤万司子/山中敬子/遠山美雪
 西谷千恵子 (敬称略)

「大月市ボランティア協議会会員研修会」

(9/27) を開催しました

大月市ボランティア協議会では、日頃のボランティア活動に生かすことが出来るようにと毎年研修会を実施しています。今年度は、大月市でも頻繁に被害が発生している「電話詐欺」について、大月警察署より若狭庄巡查部長を講師にお招きし、電話詐欺の被害に遭わないための対応方法等を学びました。最近では、電話詐欺も巧妙な方法で行っており、自分は大丈夫だと思っても実際に電話があった時には、パニックになってしまうことが多いようです。

会員の皆さんは熱心に研修を受講し、今後、電話詐欺に誰一人遭わないように、自分の地域の皆さんや関係者の方に、電話詐欺に対する周知啓発を行っていくこととしました。



「福祉講話」

「大月市立初狩小学校4年生」 10/27

初狩小学校4年生が「点字の体験学習」を実施しました。点字サークル八重桜会の会員の皆さんを講師に、最初に点字とはどんなものなのか？町のどんな場所にあるか？などを学んで、その後、実際に簡易点字版で点字を体験しました。点字体験では、点字で自分の名前の名刺や、自分の好きな物に貼ることができる点字テープを作成しました。児童たちは、ご両親、兄弟姉妹、おじいちゃんおばあちゃんのために、名前の点字テープを熱心に作成していました。点字を通じて、障がいのある方に対する理解を深める良い機会となりました。



大月市ボランティアセンター
 (大月市社会福祉協議会内)
 大月町花咲10
 (大月市総合福祉センター)
 電話:0554-23-2001

山梨県グラウンド・ゴルフ協会様より

除雪機を寄贈していただきました！

山梨県グラウンド・ゴルフ協会(会長河口喜久雄様)では、高齢者福祉を応援することを目的として、日本グラウンド・ゴルフ協会20周年記念事業により設立された、ホールインワン基金交付金事業への協力を行っており、毎年、市町村協会の推薦する所に必要とする物品を寄贈しています。

今年度、大月市社会福祉協議会では、この事業により除雪機1台の寄贈の決定をうけ、8月3日に大月市総合福祉センターにおいて目録贈呈式が行われ、10月に納品されました。寄贈していただいた除雪機は、雪が降った際に、大切に活用させていただきます。

山梨県グラウンド・ゴルフ協会様、この度は本当にありがとうございました。



大月市老人大学 「第55期生」 募集のお知らせ

楽しいシルバーライフを応援します！

- 募集人数 500名
- 入学資格 市内在住60歳以上の方
- 内 容 サークル学習（年15回程度）、全体学習（講演、音楽鑑賞など年4回）
入学式・修了式・遠足・老大祭（年間成果発表イベント）
- 学習場所 市民会館、総合福祉センター、大月区民会館、桂川ウエルネスパーク
- 入 学 金 年額8,000円（申込時に支払い、なお各部ごと別途費用がかかる場合があります）
- 募集期間 **令和6年1月10日（水）～令和6年2月16日（金）**までに所属する単位クラブの会長にお申し込みください（地域に単位クラブの無い方は老大事務局までお願いします）
*令和6年4月24日（水） 第55期入学式予定（場所：市民会館）



▲全体学習（ストレッチ体験）



▲秋の遠足（長野県りんご狩り）

●募集サークルと充実の講師陣●

園芸部	木原 吉郎	フラダンス部	カリアロハナ大鶴	華道部	芳野 豊子
書道部	望月 大耿	舞踊部	東山 夢静	詩吟部	小林 かつゑ
ダンス部	加藤 幸一	茶道部	天野 宗美	大正琴部	富田 昭二
ダンス部	若野 康子	囲碁部	小泉 皖司	短歌部	花田 規矩男
社会部	小笠原 博慧	コーラス部	佐々木 加代子	民謡部	今泉 あけみ
手芸部	杉本 まつ子	コーラス部	高島 千香	料理部	加藤 直子
健康体操部	鯨岡 瑞希	カラオケ部	新海 友也	水墨画部	水越 なつえ
ハドメイト部	梶原 たえ子	ハドメイト部	高橋 靖子	陶芸部	小林 杉雄

来たれ！老大55期生 入学をお待ちしています

●お問い合わせ 老人大学事務局 電話23-2001(代)
(社会福祉協議会内) 黒部・安藤(博)

老人クラブ・老人大学通信

「東部地域高齢者作品展」
の作品を募集します！

本年度も「東部地域高齢者作品展」を開催します。ふるって出品してください。

- ・会場 上野原市 文化ホール 1階
- ・開催日 令和6年2月6日（火）
～2月8日（木）
- ・応募資格 60歳以上の大月市在住の方
本年度制作の未発表の作品に限ります。
- ・部門 書・日本画・洋画・写真・
工芸・短歌・俳句
- ・申込期日 令和6年1月10日（水）まで
- ・申込先 大月市老人クラブ連合会
事務局（担当：黒部・安藤博）
（電話：2312001）



「これからの人生
グラウンドゴルフ楽しもう会」
が発足しました！

富浜町連では「これからの人生グラウンドゴルフ楽しもう会」（発起人・杉本正文）を発足させ、活動を始めました。発足に伴い12月10日（日）には、鳥沢小学校校庭でグラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は好天に恵まれ、来賓の方をはじめ、会員など40名が出席され、盛大に実施されました。

参加者には初心者の方が多くいましたが、山梨県シニアグラウンドゴルフ大会個人優勝をした方をはじめ、経験者が親切丁寧に指導をしていました。

今後も、会員の皆さまの健康と、老人クラブ活性の一助となりますよう、活動の継続を願っています。



大月市老人大学秋の遠足
を実施しました！

大月市老人大学では、第54期生の123名が参加し、長野県北部へりんご狩りや小布施散策などを楽しむ遠足を実施しました。

一番初めに見学した真田邸では、戦国時代に山梨県（甲斐武田氏）との関りがある資料が多く展示されており、当時の武田氏との歴史を学ぶことができました。

また、小布施では、栗を使用した食べ物に学生の皆さんが舌鼓をうつっていました。秋の楽しいひと時を過ごしました。



ツキフエス23を開催しました！



新型コロナウイルスの影響で開催できなかった「大ツキふれあいスポーツフェスティバル23（通称・ツキフエス23）」を4年ぶりに、大月市民総合体育館にて10月21日に開催しました。今大会は、開催時間や参加人員を縮小するなど、感染症対策を行いながらの実施となりました。

老人クラブの皆さん、障がい者福祉の会の皆さん、福祉施設関係者の方々等へ参加を呼びかけて、地区社会福祉協議会の役員さん、民生委員児童委員さん、ボランティア協議会の皆さんに運営のご協力をいただき、総勢260名で交流を図ることが出来ました。

アトラクションでは、大月保育園と真木保育園の園児によるお遊戯を披露していただき、会場内がとても和やかになりました。

ツキフエスで毎回最後に実施している「輪になって踊ろう」では、今回も炭坑節、武田節を参加者全員で踊って、会場が一体となりました。

競技している皆さん、応援している皆さんの笑顔がとても印象的でした！



ふれあい福祉バザーへの

ご協力ありがとうございました

新型コロナウイルスの影響で開催できなかった「ふれあい福祉バザー」を4年ぶりに、大月市民会館にて12月3日に開催しました。当日は、今までは違い、会場への入場の際に人数制限をさせていただくなど感染症対策を講じる中での開催でしたが、お越しいただいた皆さんのご協力により、混乱もなくスムーズに行うことが出来ました。

地域の皆さんより提供いただきました品数は6,147点で売り上げの金額は636,000円となりました。

このように「ふれあい福祉バザー」を開催することが出来たのも、多数の寄贈品を提供していただきました地域の皆さんと、寄贈品の収集やバザーの周知に協力していただいた各市政協力委員長をはじめとする地区の役員の方々ののおかげです。

ふれあい福祉バザー開催に関わっていただきましたすべての方々に、深く感謝申し上げます。

なお、この福祉バザーの売上金については、地区社会福祉協議会をはじめとする福祉団体の地域福祉活動をより充実させるために活用させていただきます。



介護予防生活支援サポーター養成講座

を開催しました!!!

この講座では、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活することができるような地域を目指し、支え合い・助け合い活動の担い手となっていただくボランティアを養成することを目的に開催しています。

今回の講座では、大月市立中央病院の理学療法士



馬場大介氏を講師にお招きし「介護予防について」「認知症の理解や関わり方」について講義していただきました。

受講した方には今後、様々な場面で活躍していただきたいと思っております。

当講座は2/16（金）にも同様の内容で実施します。「困っている方のお手伝いをしたい!」「やりがいや生きがいのある活動をしてみたい!」と思われている方は、左記まで是非お申し込みください。

・申込先

大月市社会福祉協議会

地域福祉担当

(電話：23-2001)



赤い羽根共同募金運動

街頭募金

を実施しました！



赤い羽根共同募金運動の開始に合わせ、10月2日に大月駅前にて街頭募金運動を実施しました。

昨年まではコロナ禍により縮小して実施していましたが、今年はコロナウイルス感染症が5類へと移行したことで小林市長をはじめ、各種団体の会長の皆様にご協力をいただき実施しました。また、今年は就労支援施設めばえの利用者及び職員の方々にも参加していただきました。

早朝の通勤通学のお忙しい中、足を止めてくださりありがとうございました。

いただいた募金は老人憩いの家の備品整備やいきいきサロンへの助成、地区社協推進事業など大月市の福祉向上のために利用させていただきます。

赤い羽根共同募金は「地域をよくするしくみ」であり、大月市の地域福祉活動を支える力となります！今後も赤い羽根共同募金にご支援・ご協力をお願いします。



日常生活自立支援事業をご存じですか？

「福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない」「銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい」「通帳や印鑑など大切な書類をどこに置いたか忘れてしまう」など、生活の中で困りの事はありませんか？

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分なため、日常生活でお困りの方を対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをして、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにサポートします。

◇援助内容について

①福祉サービスの利用援助
福祉サービスを安心して利用できるよう相談・助言・情報提供を行います。

②日常的な金銭管理
毎日の生活に欠かせない生活費等のお金の出し入れをお手伝いします。
・税金や公共料金、医療費などの支払い、口座引き落としの手続き
・銀行などへ行って預貯金の払い戻し・預け入れ

③書類等の預かり
大切な書類や印かん、証書などを安全にお預かりします。

◇利用料金

利用相談は無料です。契約締結後は利用料や預かり料が必要となります。
・福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理サービス
・・・1時間以内1,000円(以降加算あり)

・交通費・・・1kmあたり20円
・書類預かりサービス・・・月額300円

◇お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 相談支援担当

*利用希望の方は、まずは社協にお問い合わせ下さい



食品寄付への協力のお礼

大月市社協ではフードドライブ(食品寄付)を実施しています。

皆様のご支援により今年度合計512.7kg(12/7時点)のご提供をいただいています。

これらの食品などは、生活に困り食品を必要としている方々を支援するために利用させていただいております。

ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

なお、食品寄付については、随時お受けしています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

●ご協力いただきました個人・団体名
梁川地区ボランティア協議会・高橋明・鈴木雅夫・明治安田生命上野原営業所・佐藤玲子・小林孝正・遠山美雪・やまびこ支援学校・山本公子・殿上区・匿名の皆様(敬称略)





ご存じですか？社協のマーク？
このマークは、社協の「社」を
図案化し、「手をとりあって、
明るいあわせな社会を建設す
る姿」を表現しています。

<< 編集後記 >>

新年あけましておめでとうございます。

今年のお正月は、明るく楽しくお過ごし
でしょうか？

今号のご報告の通り、地域福祉推進大会
やふれあい福祉バザーが開催された際には、
「久しぶりね！」とお声掛けいただき、とて
も嬉しかったです。多くの皆様のご参加を
いただき、ありがとうございました。

社協の三大行事も4年ぶりに開催でき、
活動と触れ合いと皆様の笑顔を取り戻せた
のではと感じました。今後も新たな事業や
活動が生まれてくることと思います。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

(広報委員会委員 上條 若奈)

「おおつきで頑張る若者」ならびに
「我が家のプチ自慢」を募集しています！！

○応募先・問い合わせ先

メールアドレス fureai@otsuki-shakyo.jp

総務担当 TEL 0554-23-2001



この「社会福祉・ボランティアだ
より」の発行費用の一部は共同募
金の配分金が使われております。

我が家のプチ自慢

メイちゃん (猫：推定9歳)



投稿者：ワンちゃんの家家庭教師さんより (猿橋町)

子供の頃足を滑らせ下水道に流されてるいろ
とろを拾われた運動が苦手な猫です。

今すぐアクセス！

大月市社協

検索

事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲10番地 総合福祉センター1階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」

介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501

大月市富浜町宮谷1518番地1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132